

私立高校生の修学支援事業

2,000円以上ご寄付いただいた方に私学団体が発行する会報「私学やまがた」をお送りします

あなたの寄付を私立高校の修学支援事業の充実に活用します！

●本県の私立高校に通う生徒の修学支援について

山形県では、私立高校に通う生徒の教育費負担の軽減のため、授業料負担に対する助成である政府の就学支援金に、県独自で上乗せ補助を行うなど、低所得世帯等の支援を行っています。



●寄付の使い道について

本事業にいただいた寄付金は、家庭の経済状況にかかわらず、幅広く教育を受けることができるよう、私立高校に通う生徒の修学支援事業に活用させていただき、支援のさらなる充実に努めてまいります。

<活用例>

- ・私立高校に通う生徒の授業負担に対する助成
- ・その他私立高校に通う生徒の教育費負担軽減のための助成



●お礼の内容

本事業に御賛同いただき、御寄付いただきました方には、お礼状と直近に私学団体が発行する会報「私学やまがた」をお送りします。

平成31年(2019)4月24日 第67号 発行部数28,000部

発行所 公益社団法人山形県私立学校経済委員会
 郵便番号 990-0033
 山形市秋田町1丁目6番11号
 山形県私立学校経済委員会
 電話023(641)2823
 発行者 九星愛志
 印刷 アベ印刷株式会社

「自由な発想 果敢な実践 新世紀を先駆ける私立学校」

地域に活力を… 若い力に期待
 山形県私立学校経済委員会 会長 清野 伸昭

私が住んでいるところはマチの中心地でありながら夕方6時を過ぎるころにはほとんど人通りがなく、商店街とはいえずでもシャッターが閉まったままの店が多くあります。近頃は空き家もみられ全く寂しい限りですが、県内の

高校卒業生の56%が県外に転出しています。県内で働く若者が非常に少ないのが実態です。昨今、高校では授業の中で地域のボランティアをはじめ地域と関わる機会を多く取り入れる取組みをされており、誠に意義あることと思えます。さらに大学では、学生が地域の人達と一緒に様々な地域の課題解決に力をいれている実例を見ます。例えば平成25年から28年の間で山形県内の高等教育機関が連携し地域型体験を実施した「社会人力養成山形講座」では、学生の山形への就労意欲が高まり、山形で働く人が増えたと報告されています。若い人のエネルギーは大きく、地域の活性化、元気づくり